

【全国発信記事】 愛媛支部

《今治市》《今治市議会》へ申し入れ

愛媛支部は、第82回定期全国大会の決定事項に基づき、12月20日に今治市と今治市議会へ申し入れを行い、活動方針の具現化に向けての活動を展開した。
申し入れには組合政治参与の菅森実愛媛県議会議員と山岡健一今治市議会議員にご同行いただき、また全国海友婦人会の黒川ヒサ子今治支部長と石川稔愛媛県議会議員に同席いただいた

主な申し入れ内容

- ▽フェリー・旅客船の維持・存続に向けた実効ある支援策について
 - ▽外国航路などに従事する日本人船員に対する住民税減免措置について
 - ▽初等・中等教育機関における海事思想の普及ならびに船員養成教育機関と関連施設の維持・拡充について
 - ▽料金收受業務に従事する組合員の雇用と安定した職場の維持・存続に向けた具体的な施策を講じること
- 一など。申し入れでは、はじめに清水駿愛媛支部長から申し入れの趣旨と内容、海員組合の活動と船員職業の役割や重要性について説明し、その後の意見交換で理解を深めた。

意見交換で示された考え方

《今治市》 ご対応者 徳永繁樹市長

島嶼部を有する今治市にとって、フェリー・旅客船が海上公共交通機関として重要な役割を果たしていただいていることは十分に認識している。

- ▽小学校や中学校において、子どもたちが海に親しむことができるよう海洋教育を広げていきたい
- ▽本四架橋料金收受業務の設立された経緯について理解しており、今後の動向を注視していきたい

《今治市議会》 ご対応者 近藤博議長（当時）

しまなみ海道の開通により、今治港を発着するフェリー・旅客船が減少し、街の活気が失われている。

- ▽船員が住みやすい街づくりについて考えていきたい

「海員だより」